

「診断しが」平成30年夏号 No.41 平成30年8月20日発行(年間2回発行)

診断しが



「エリ漁と輝く湖面」(大石孝太郎撮影)

平成30年 夏 号

一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

目 次

会長挨拶		1
無料窓口相談実績		2
平成 30 年度定時総会・役員体制		3
鐘井輝先生藍綬褒章受章		5
特集記事		6
委員会報告		9
研究部会報告		13
新入会員紹介		18
中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆さまへ ..		23
事務局から会員のみなさんへ		24



会長挨拶

一般社団法人中小企業診断士協会
会長 田中清行



(総会後の懇親会にて)

この度、一般社団法人滋賀県中小企業診断士協会の会長に再び選任していただきました田中清行です。

私は、平成26年度から副会長、平成28年度から会長をさせていただき、今回が2期目になります。

この4年間、当協会の方針として、五つのC（①コア・コンピタンス重視し経営資源を集中、②コーポレートガバナンスの充実、③チャレンジ精神の発揮、④カスタマー・ファーストによる価値創造、⑤CSR）を掲げ、大石副会長が中心になってビジョンを策定していただき、パンフレットもできました。

新進気鋭の若手診断士から経験豊富なベテラン診断士までが研究会等で議論を戦わしてお互いに切磋琢磨し、また懇親会で和気藹々とコミュニケーションを図って、強いサッカーチームのような組織づくりを目指してきました。それが役員、会員の皆様のご協力のお陰で、軌道に乗りつつあると実感しています。

平成30年3月末、会員数が86名となって、現在も増えつつあり、近々に100名の大台乗せも見えてきました。財政も健全な状態を維持できています。

経済環境は良い面、悪い面が交錯して先が読み難い状況ですが、当協会は、国や県の政策の方向性を熟知しながら協力して中小企業を支援していかなければならないと常に心がけております。

中小企業の喫緊の課題、事業承継についても今年度に滋賀県事業承継ネットワークが構築され、診断士への期待が高まりつつあります。

こうした中で当協会は、期待に応えるためにもブランディングを強化して、コンサルティングの品質向上に努め、果たすべき専門性をより具体的に中小企業、支援機関、地域に発信していきます。

中小企業経営者の皆さま、経営課題に一人で悩んでおられず、中小企業診断士、または当協会にお気軽にご相談ください。事業承継等の課題解決に共に知恵を絞って考え、実践して、貴企業のよりよい明日を切り開いてまいりましょう。



無料窓口経営相談会実績

会長 田中 清行

当協会では、平日の午後1時から午後5時まで、会員による無料経営相談を実施しています。平成30年度の相談実績は以下の通りです。

平成30年 窓口相談実績

No.	日 時	相談内容
1	平成30年1月10日	経営相談
2	平成30年1月16日	経営相談
3	平成30年1月23日	経営相談
4	平成30年1月25日	販路についての相談
5	平成30年1月30日	経営相談
6	平成30年2月8日	経営相談
7	平成30年2月9日	経営相談
8	平成30年2月9日	経営相談
9	平成30年2月15日	経営革新について
10	平成30年3月2日	経営相談
11	平成30年3月8日	創業支援
12	平成30年4月6日	創業相談
13	平成30年4月16日	BCP作成について
14	平成30年5月14日	集客の方法について
15	平成30年5月28日	BCP作成について
16	平成30年7月2日	ターゲットについて
17	平成30年7月13日	創業について



平成30年度定時総会を開催

副会長 大石孝太郎

平成30年5月12日午後3時より、滋賀県産業支援プラザコラボしが21で、平成30年度定時総会を開催しました。

開会に先立ち、この度、藍綬褒章を受章された鐘井輝会員のご紹介と受賞の喜びのご挨拶をいただきました。

総会は、会員87名中39名の出席と、ご来賓として滋賀県中小企業支援課平岩課長様にご出席を賜り、平成29年度事業報告、収支決算等の報告・承認、および平成30年度事業計画、収支予算について満場一致で承認を得ました。

また、今年度は、理事改選の年となることから、新理事の選任、常任理事の選任が行われました。

平成30年度の役員、各種組織体制は、次頁の通りとなりました。



総会終了後、新入会員の紹介と各研究会のオリエンテーションがあり、夕方からは場所を替えて30名が参加して新入会員歓迎会を行いました。

普段は研究会等で熱心に議論して切磋琢磨し、飲み会では和気藹々と心を通わし、強いサッカーチームのような協会に近づきつつあります。

滋賀県中小企業診断士協会 平成30年度 役員体制

●役員

会長	田中清行			
副会長	大石孝太郎	田畑一佳	鐘井 輝	
専務理事	川北日出夫			
常務理事	松島明男	山田人志		
理事	玉木幸夫	仲西貞之	西村剛史	服部直幸
	山本邦博	山本善通	佐々木武	下村裕彦

(財務担当)

監事	大谷武重	土山嘉雄
----	------	------

相談役	大岡敏孝	廣田光政
-----	------	------

●常任理事会

常任理事会	田中清行	大石孝太郎	田畑一佳	鐘井 輝	
	川北日出夫	松島明男	山田人志	土山嘉雄	大谷武重

●委員会

委員会	委員長	委員				
企画・広報	大石孝太郎	河原進吾	佐々木武	三宅裕之	若島浩文	
組織体制	田中清行	池田健一郎	佐々木武	田内孝宜	山本邦博	
受託	田畑一佳	田中清行	大石孝太郎	鐘井輝	川北日出夫	松島明男
		山田人志				
研修・専門分野研究	川北日出夫 山田人志	伊佐嘉仁	川島康史	松島明男	三宅裕之	山本善通
		鐘井輝				
会員サービス (実務実習)	田畑一佳	伊藤友重	岩崎弘之	佐々木武	田内孝宜	玉木幸夫
		土山嘉雄	西村剛史	東 勉	鐘井輝	
厚生	鐘井 輝	稲田忠夫	岩崎弘之	河原進吾	仲西貞之	森部修

●個人情報保護

個人情報保護	管理者	取扱責任者	取扱担当者	苦情相談窓口	監査責任者
担当者	川北日出夫	大石孝太郎	小山敦美	田中清行	土山嘉雄



鐘井輝先生藍綬褒章受章おめでとうございます

この度平成30年春の褒章において、当協会副会長である鐘井輝先生が藍綬褒章を受賞されました。

協会会員・職員一同鐘井先生の受賞を心よりお喜び申し上げます。



(鐘井先生は1列目右から2人目です)

鐘井先生より感謝のお言葉を頂戴いたしましたので、掲載させていただきます。



謹啓
ご尊家皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます

さて私こと

この度平成三十年春の褒章に際しましてはからずも藍綬褒章 受章の栄に浴し身に余る光栄と感激致しております
去る五月十五日 褒章の記褒章の伝達を受け夫婦共々皇居へ参内し 天皇陛下に拝謁の栄を賜り感激の極みでございました

この受章は私ひとりの榮譽ではなく多くの皆様に支えられてのお蔭と心から感謝致しております
これからも更に精進しいさかなりともご芳情に報いるべく微力を尽くす所存でございますので何卒変らぬご厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます
末筆ながらご尊家皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます

謹白

平成三十年五月吉日

鐘井輝



「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2017」報告

若島 浩文

東京大学・伊藤謝恩ホールにて RESAS（地域経済分析システム）を活用して地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2017」で、デジタルナレッジ賞を受賞いたしましたのでご報告します。

受賞作品名：「観光で吉野町の付加価値額を生み出す」

- 募集 2017 年9月1日(金)～10月25日(水) → 647組が応募
- ↓
- 地方予選期間: 2017 年10月26日(木)～11月中旬 → 21組が予選通過
- ↓
- 全国第一次審査期間: 2017 年11月中旬～11月下旬 → 5組が予選通過
- ↓
- 最終審査会 : 2017 年12月16日(土) 午後



☆評価された点



上記の③の論理展開を評価されての受賞です。その後に統計専門の方に二次利用して頂いたことから、そこそこの評価だったと思います。

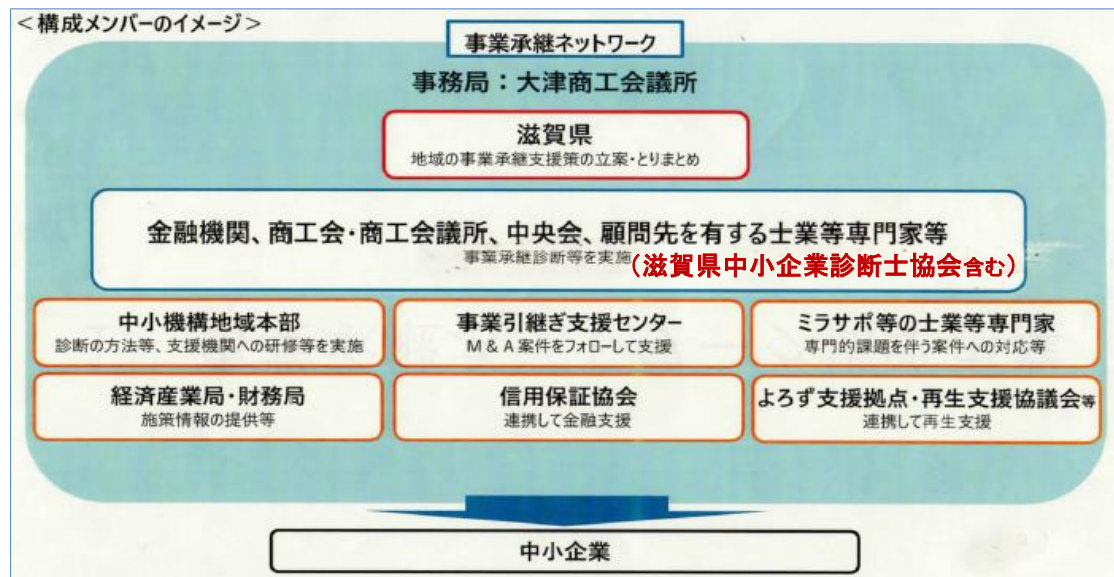
今年度も「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2018」が開催されるとのことです。興味のある方は参加してはどうでしょうか。

「滋賀県事業承継ネットワーク」の取り組みについて

(一社)滋賀県中小企業診断士協会 事業承継研究部会 松島明男

1. 滋賀県事業承継ネットワークとは

経営者の高齢化などにより、全国的に中小企業の事業承継が喫緊の課題となっており、国や地方公共団体では今後 5 年間で集中取り組み期間と定め、事業承継の促進に努めています。「2017 年版中小企業白書」によると、滋賀県の 2015 年度の中小企業の廃業率(廃業事業所数と前年度の事業所数の割合)は 4.9%と全国1位となっており、地域の雇用の確保や経済の活性化へ向けた事業承継の促進が重要な課題となっています。そのため、滋賀県内で官民を挙げた連携組織として、「滋賀県事業承継ネットワーク」が 5 月中旬に立ち上げられ、当診断士協会を含む下図の参画機関が県内中小企業の事業承継の推進に取り組んでいくことになりました。

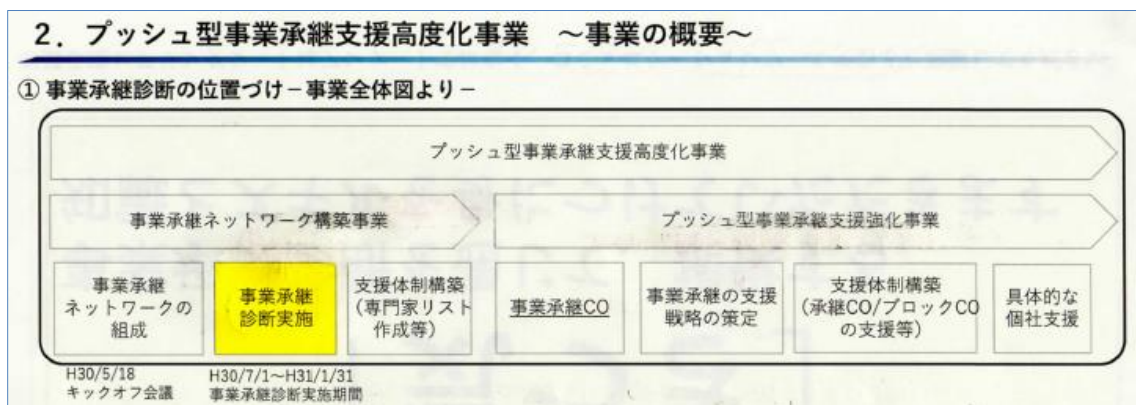


2. 事業承継支援事業の概要

下図に示すように当事業(正式名:プッシュ型事業承継支援高度化事業)は、

- ・前段の「事業承継ネットワーク構築事業:事業承継診断実施」
- ・後段の「プッシュ型事業承継支援強化事業:事業承継計画策定支援」

の2段階構成となっており、前段の事業に向けた研修も既に終了し、今後、経営者が 60 歳以上である県内の事業者様への「事業承継診断」が実施されていく予定です。



○「事業承継診断」に使用されるヒアリングシート

No. _____ 平成 年 月 日

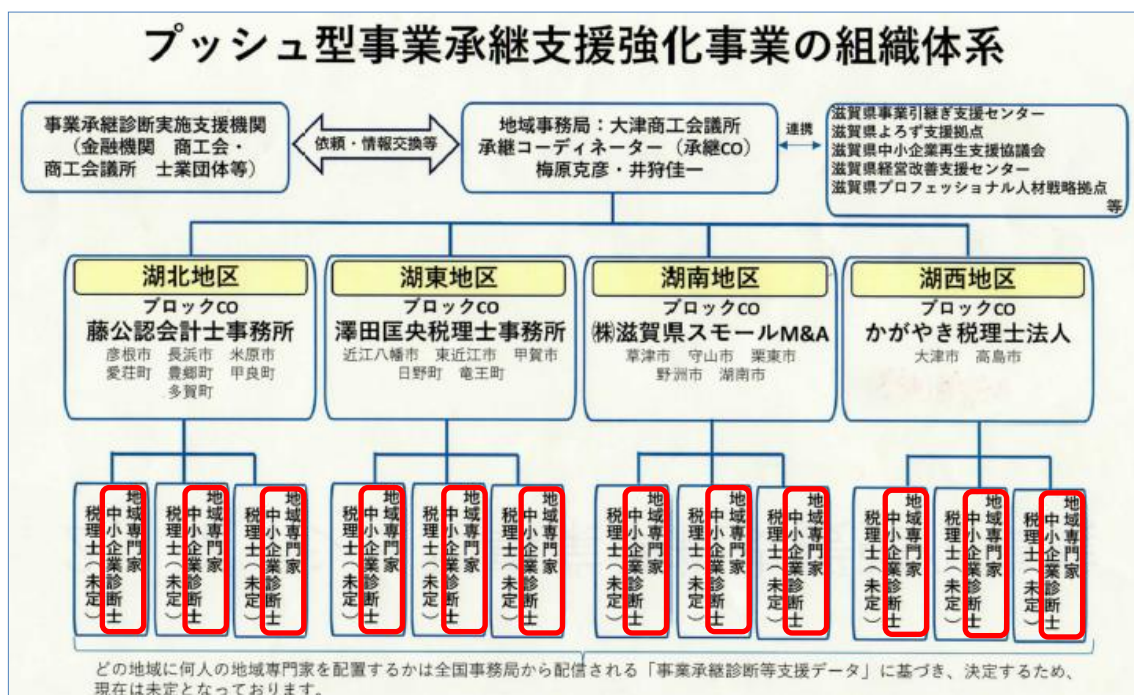
取扱支援機関名: _____ 担当者: _____

事業承継ヒアリングシート

企業名	従業員数	売上	業種	経営者の年齢
		人	百万円	才
Q1 会社の10年後の夢について語り合える後継者候補はいますか。 はい ☐ いいえ ☐ [それは誰ですか?] ※「はい」⇒Q2へ 「いいえ」⇒Q7へお進みください。				
Q2 候補者本人に対して、会社を託す意思があることを明確に伝えましたか。 はい ☐ いいえ ☐ [それは誰ですか?] ※「はい」⇒Q3～Q6 「いいえ」⇒Q8～Q9をお答えください。				
Q3 候補者に対する経営者教育や人脈・技術などの引継ぎ等具体的な準備を進めていますか。 はい ☐ いいえ ☐				
Q4 役員や従業員、取引先など関係者の理解や協力が得られるよう取り組んでいますか。 はい ☐ いいえ ☐				
Q5 事業承継に向けた準備(財務、税務、人事等の総点検)に取りかかっていますか。 はい ☐ いいえ ☐				
Q6 事業承継の準備を相談する先がありますか。 はい ☐ いいえ ☐ [それは誰ですか?]				
Q7 親族内や役員・従業員等の中で後継者候補にしたい人材はいますか。 はい ☐ いいえ ☐ [それは誰ですか?] ※「はい」⇒Q8～Q9 「いいえ」⇒Q10～Q11をお答えください。				
Q8 事業承継を行うためには、候補者を説得し、合意を得た後、後継者教育や引継ぎなどを行う準備期間が必要ですが、その時間を十分にとることができますか。 はい ☐ いいえ ☐				
Q9 未だに後継者に承継の打診をしていない理由が明確ですか。(後継者がまだ若すぎるなど) はい ☐ いいえ ☐				
Q10 事業を売却や譲渡などによって引継ぐ相手先の候補はありますか。 はい ☐ いいえ ☐				
Q11 事業の売却や譲渡などについて、相談する専門家はいますか。 実際に相談を行っていますか。 はい ☐ いいえ ☐ [それは誰ですか?]				
Q12 ヒアリングより抽出された課題または事業主が求めているニーズは何ですか。 (診断実施機関がQ1～Q11のヒアリングを通じて抽出してください。それについて受診者へ課題の確認を行ってください) 1. 初期課題 2. プレ承継 3. 事業承継計画の策定 4. 後継者不在 5. 事業売却による事業引継 6. 廃業検討 7. その他()				

3. プッシュ型事業承継支援強化事業の組織体系

「事業承継診断」が実施された後、承継計画の策定が必要と判断される事業者様に対して、下図に示すように県内で4つに分けられたブロックでのコーディネーターの元に配置された登録専門家(診断士など)が、計画策定への支援を実施していくことになっています。参画する当診断士協会会員の方々のご協力をよろしくお願いします。





組織体制委員会

田中清行(委員長)、佐々木武、田内孝宜、
池田健一郎、山本邦博

1. 今までに取り組んだこと

- (1) 切磋琢磨しチーム力で戦える組織づくり・・・強いサッカーチームのようにお互いに切磋琢磨しながらチーム力で戦える、より強い組織づくりを目指しました。研究会の題材にしてリンクさせ、そのことにより、情報の共有とスキルアップ、チームワークの強化につながっています。
- (2) 市場機会とスキルアップの場の提供・・・県等へ営業活動をして受注した業務を受託委員会で公募して、会員に市場機会とスキルアップの場を提供しました。
- (3) 賛助会員向けサービスの提供・・・賛助会員のニーズ調査を行い、無料相談の希望のあった企業に対し無料相談を行いました。
- (4) 県、市、中小企業支援機関、金融機関、大学等の関係機関との高密度の連携・・・県、市の各種会合への参加による連携強化、営業推進に努めました。商工会、商工会議所等の中小企業支援機関との連携強化、営業推進に努めました。

2. 平成30年度取組方針

- (1) 正会員の増加策・・・お互いに切磋琢磨しながらチーム力で戦えるより強い組織づくりのために、皆が十分にコミュニケーションを取り合える、風通しのよい組織風土づくりに努めます。
- (2) 賛助会員の検討・・・賛助会員は当協会を応援していただく協力企業であることが基本であり、今後のあり方を検討します。
- (3) 事務所内の3S・・・快適な事務環境にするために3Sを行います。
- (4) 県、市、中小企業支援機関、金融機関、大学等の関係機関との高密度の連携・・・県、市の各種会合へ参加して連携強化、営業推進します。商工会、商工会議所等、中小企業支援機関との連携、営業推進を更に推進します。

会員サービス強化委員会活動報告

田畑一佳(委員長) 伊東友重 岩崎弘之 鐘井輝 田内孝宜
佐々木武 玉木幸夫 土山嘉雄 西村剛史 東勉

会員サービス強化委員会では、実務従事のポイントが取得しにくい中小企業診断士の方に、本年度も以下の要領で実務従事の手を助けて提供させていただきます。

◆日程

- ・第1クール:平成 30 年 10 月 8 日(月祝)～平成 30 年 12 月末の間の 6 日間
- ・第2クール:平成 31 年 1 月 14 日(月祝)～平成 31 年 3 月末の間の 6 日間

◆対象者:中小企業診断士

◆参加費用:滋賀県診断士協会会員(10,000 円) それ以外の方(30,000 円)

◆定員:各クール 24 名(第 1 クールと第 2 クールの重複も可能です。)

◆診断先企業:各クール数社を予定しています。

◆詳細日程 ※主に土日を主体に考えておりますが、平日になる場合もあります。

	第1クール	第2クール
オリエンテーション日	平成 30 年 10 月 8 日(月祝) 14:00～16:00	平成 31 年 1 月 14 日(月祝) 14:00～16:00
①準備	コラボ滋賀21会議室 ・グループ分け及び担当指導員紹介 ・診断の進め方についての説明 ・報告書の作成方法の説明 ・グループ毎の日程説明	
②ヒアリング	・担当指導員同行の下でヒアリング実施(平日の場合あり)	
③経営診断	・各グループで実施(主に土日とメールでのやり取り)	
④経営診断		
⑤経営診断		
⑥診断報告会	・平成 30 年 12 月末までに 担当指導員同行の下で実施 (平日の場合あり)	・平成 31 年 3 月末までに 担当指導員同行の下で実施 (平日の場合あり)

◆平成 29 年度の実績

昨年度は延べ31名の方に参加いただき、6社の企業様の診断をさせていただきました。全ての企業様から「とてもよかった。作成いただいた報告書は、これからの経営の指針にしていきたい。」など、お褒めの言葉をいただきました。また、参加者からも「非常に内容の濃い実習であり、自分のスキルアップにつながった。」という声をいただいております。参加者全員にとって、とても有意義な実習となっております。

みなさまのご参加を心からお待ちしております。

専門分野研究委員会の取り組みについて

伊佐嘉仁、鐘井輝、川北日出夫、川島康史、松島明男、三宅裕之、山田人志、山本善通

1. 専門分野研究部会の活動状況（2018/6/30 現在）

12 の研究部会が、情報・ノウハウの共有やスキル強化と共に、会員間の連携強化や、支援の品質向上を目指して活動しています。

研究部会名	開催日	取り組み概要
知的資産経営	7/15, 8/19	知的資産経営による戦略策定・経営改善、評価指標の研究
国際マーケティング	9月にミャンマーに研修予定	海外展開に関する理論・ノウハウ
企業組織活性化	6/14	持続化補助金支援、出版企画等
BCP	4/28, 5/26	事業継続計画策定の手法確立
事業再生支援	4/18, 5/16, 6/20, 7/18	経営安定化、改善計画策定の事業受託を支える研鑽
ものづくり	4/20, 6/15, 6/25, 7/20	支援スキル向上、セミナーの実施
利益ナビゲーター	6/26	損益構造の改善、事例研究等
事業承継	4/11, 5/09, 6/13, 7/11	業務受託を目指したスキル向上
創業支援	5/12, 7/30	創業スクールの企画・実施
アグリビジネス	5/18, 6/26	農業経営支援のスキル確立
地域経済分析	4/04, 5/02, 6/06, 7/17,	RESAS の分析・活用手法研究
ソーシャルビジネス	〈隔月第三火曜〉本年度未開催	ソーシャルビジネスの支援

2. 「診断士の日」関連イベント

創業支援研究会が計画している創業塾を「診断士の日」関連イベントとして診断士の認知度向上に向けたイベントとする予定です。

また金融機関や支援機関向けに、事業性評価や後継者育成に有効な知的資産経営についてセミナーを開催すべく、知的資産経営研究会と事業承継研究会を中心に検討しています。

3. シガネット研究会

研究部会の活動が始まる前に有志が研鑽に励んだ会がシガネット研究会です。今年は12月8日(土)に開催の予定にしています。講演や発表の内容については、今後委員会で検討していきますが、皆さまのご希望やご提案をいただければ、できるだけ活かしていきたいと考えています。

厚生委員会 2018 年上期活動報告と下期予定

鐘井 輝(委員長) 稲田忠夫 岩崎弘之 河原進吾 仲西貞之 下村裕彦 森部 修 島淵裕一

上期活動報告

1. 平成30年度親睦ゴルフ

第一回滋賀県中小企業診断士協会会長杯 平成30年6月22日(日)、信楽c c 田代コースで実施した。参加者13名、優勝者は土山永一氏(賛助会員)、準優勝は森部 修会員。



2. 平成30年度海外視察予定

2018年度の海外研修企画として、9月16日から20日まで実施いたします。ミャンマーは東南アジアでこれから躍進する親日で魅力ある安全な国です。中小企業診断士様、各士業様、業界・企業関係者様におきましては、この機会に皆様とより一層の海外でのビジネス事情研修、および親睦を深めたいと願っております。

参加者 鐘井輝、田中晋次、河原進吾、森部修、竹村義治、稲田忠夫

ジェトロ・ヤンゴン、ティラワ経済特区内日系企業、MERAC Associates Japan Co, Ltd 等、ミャンマーの市場の特性、中小企業動向、日系企業の進出状況、ミャンマー人材の日本での就業可能性などヒアリングを実施する予定。(現在詳細調整中)



利益ナビゲーター研究部会活動状況

土山嘉雄(リーダー)、伊佐嘉仁、佐野良太、松島明男
松井卓機、小川宗彦、南肇之、萩敏夫、若島浩文

利益ナビゲーター研究部会は、昨年9月の第17回をもっていったん活動を終了しましたが、今年度に入り再度研究部会活動を開始することになり、第1回を6月26日に実施しました。

1. 目的

『利益ナビゲーション経営』と『戦略ナビゲーション経営』による企業経営の進め方を整理して経営者に提供する。

2. これまでに行ったこと

- ① BSC を参考に「利益ナビ」、「戦略ナビ」指向の経営システムを追求し具体化した。
- ② 具体的には

・財務の視点⇒	利益 Keep	}	利益ナビ（予算編成、予算／実績対比）
・顧客の視点⇒	売上 Watch		
・業務プロセスの視点⇒	費用 Control	}	戦略ナビ（月間の問題摘出、修正作業）
・人材と変革の視点⇒	経営 Level up		

3. 今後の予定（目標利益達成の確実化）

- ① 利益 Max の予算編成アプローチ(5ブロックチャート、19ブロックチャートの活用)
- ② 売上と費用の月間実績値を予算値と比較するシステムアプローチ
- ③ 利益未達の真因摘出と改善策の実施⇒月間診断定着アプローチ
- ④ 利益ナビゲーションを使った投資計画の研究⇒若島先生の提案
- ⑤ 利益管理に関するその他の視点
 - ・経営レバレッジ(Operating Leverage)⇒売上高に対する利益伸率の最大化
 - ・財務レバレッジ(Financial Leverage)⇒負債額に対する自己資本利益率の最大化
 - ・固定費分解作業が不要な管理会計⇒経営レバレッジを活用した固定費分解法
 - ・固定費、変動費の分析は企業発展のカギ⇒最良簡便な日銀方式固定費分解法
 - ・販売戦略の損益分岐点と利益ナビゲーター活用
 - ・売上増に見合った人件費戦略と利益ナビゲーター
 - ・その他、多数を予定

ものづくり研究会 活動報告

メンバー：伊佐嘉仁、五十田光宏、磯野研、川北日出夫、川島康史、河原進吾、北村信之、佐々木一幸、佐々木武、武田篤志、田中清行、田畑一佳、玉木幸夫、土山嘉雄、西田晃一、野々山寛、松島明男、三木正博、三宅裕之、森部修、山元岳司（五十音順）、の 21 名

1. 活動内容

ものづくりに高い興味・関心を持つメンバーが集まって活動しています。製造業だけでなく IT、サービス、製造小売など、「ものづくり」を広く捉えています。商品開発、マーケティング戦略、事業戦略の支援に役立つ情報の共有や、スキルの向上を目指しています。

① 例会：毎月第3金曜日 18:00 から JR 南草津駅の草津市民交流プラザで開催しています。

- ・自由発表：各自の自由なテーマで話をしてもらって、皆で議論します。

人とその方の経験を知ることで、仕事の連携にも役立っています。

- ・テーマ研究：テーマを設けて支援スキルの向上を狙って継続的に学んでいます。昨年は「デザイン思考」の手法について学び、本年度はその応用を研究しています。

- ・ものづくりサロン：興味のあるテーマについてネタを持ち寄り議論します。

ABC、海外展開、実験計画法、エゴグラム、化学物質管理等好奇心が刺激されます。

② 外部への情報発信

過去 2 回の公開セミナーを実施しました。デザイン思考の支援スキルがまとまった時点で、再開したいと考えています。

③ 受託事業

研究会の中でテーマに応じた分科会を設けて、個々のスキルアップとともに、サービスレベルの維持、品質確保に努めています。受託した事業は以下の内容です。

- ・ものづくり補助金成果事例集
- ・展示会出展支援

2. 今後の予定

デザイン思考で用いられているフレームワークやツールを、ものづくり企業の新事業開拓や新商品開発に応用して成果をあげる事例を集めて、外部セミナーやワークショップを通じて診断士のサービスについて発信していきたいと考えています。



様々なバックグラウンドを持つ方々の経験や知識に基づく、楽しく示唆に富む話が聞ける研究会です。積極的に参加いただける方はいつでも大歓迎ですので、興味・意欲のある方のご連絡をお待ちしています。

アグリビジネス研究会 活動報告

西谷弘士(リーダー)、伊佐嘉仁、五十田光宏、磯野研、川北日出夫、河原進吾、北村信之、黒川勝利、武田篤志、田中清行、田畑一佳、中川学、服部直行、松嶋明男、三宅裕之

1. アグリビジネス研究会について

アグリビジネス研究会の領域は、農業に関連する経済活動に加えて、林業、水産業も含めた幅広いものとしています。それらに対して、診断士としてどう関わっていけるのかを考えながら研鑽に取り組んでいます。

2. 活動内容

主な活動は例会と対外活動があります。

① 例会

5月までは、3ヶ月に1回のペースで開催していましたが、6月からは原則として偶数月の第4火曜日に開催しています。

現在、創業者や経営者向け経営塾のカリキュラム作成に取り組んでいます。

② 対外活動

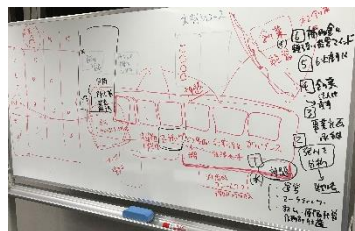
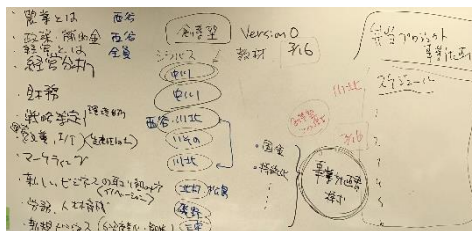
現在以下の活動を行っています。

- ・ 農業経営高度化アドバイザー：JA滋賀中央会からの委嘱で参加していた集落営農経営高度化の事業が国の事業になり、滋賀県農業会議が事務局となって名称も変わりました。参加メンバーも3名に増え、今年度は経営診断や事業計画策定支援、経営改善の支援等が増えることが期待されます。
- ・ 滋賀県農林水産新ビジネス創造研究会：例会に参加し情報収集をしています。
- ・ 滋賀県農業経営課・農産普及課との連携：県の実施する研修について提案を求められており、共同で研修プログラムの作成にむけて検討・準備中です。

3. 今後の予定

経営塾のカリキュラム作成や研修プログラムの作成等、支援メニューの充実を着実に進めて、研究会内で支援スキルの共有を図り、外部からの支援要請に応えていきたいと考えています。

県等の農業施策の現場からは、診断士に対する大きな期待があります。農業経営ユニークな事情を理解すれば、一般事業者を診断するスキルを十分に活かせる領域ですので、興味をお持ちの皆様の参加をお待ちしています。



地域経済分析研究会（R 研）

運営人 伊藤友重

1. 本研究会は、毎月第一水曜日に、集まる研究会です。
2. R 研の R は Regional（地域）のことを皆で学ぶので頭文字をとりました。
RESAS や統計の R 言語、Research(調査)の頭文字でもあります。
3. あとは、現在模索中の研究会です。

2018 年度は e-learning「地方創生カレッジ」の講義コンテンツをベースに各先生に発表をいただいております、新しい発見もあり毎回すごく勉強になっています。
おかげさまで研究会開催回数が 21 回を数え、今後も末永く安心してメンバー同志が情報交換できる場として定着させていきたい、と思っております。

～ 月 1 回の診断士の雑談が地域を良く変えたと信じて ～

【最近の発表内容と今後の発表予定】（敬称略）

日時	発表者	タイトル
2018/4/4（水）	伊藤 友重	地域の労働生産性について
2018/5/2（水）	井上 稔	イノベーション【地方創生入門】
2018/6/6（水）	伊藤 友重	事業性評価に関するケーススタディ
2018/7/17（火）	佐々木 武	里山再生プロジェクト
2018/8/1（水）	松島 明男	地域の中小企業・産業振興【地方創生入門】

以後、2018/9(池渕 ゆかり)、2018/10(井上 稔)、2018/11(中川 学)、
2018/12(牧 二三男)、2019/1(廣田 光政)、2019/2(佐野 良太)、
2019/3(田中 清行)、と各先生（敬称略）の発表を予定。

4. 平成 30 年度取組方針

- ・地方創生を率先し支援できる人材としての診断士
＝ R できる診断士

ソーシャルビジネス研究部会

田内 孝宜

1. 『日本政策金融公庫』『淡海ネットワークセンター』との連携協定

県内の『ソーシャルビジネス』の担い手を支援していくため、2017年6月、『日本政策金融公庫』『淡海ネットワークセンター』と連携協定の覚書を締結した。両者と協働し、研究会の中でソーシャルビジネスに関する知見の獲得に努めつつ、診断士協会として、講師派遣や経営相談などの支援を実施している。



2. 設立趣旨

複雑・多様化する社会的課題に対し、ソーシャルビジネスの担い手（企業、NPO法人等）はそれぞれの立場から課題解決を図っている。私たち診断士のゴールの一つである「地域経済の活性化」と彼ら・彼女らの活動の親和性が高いことから、研究部会を立ち上げた。ソーシャルビジネスについて知見を深めることにより、より良い社会を実現していくための土壌を整えたい。

3. 短期的な目標・計画

①しがソーシャルビジネスサポートネットワークでの協働

上記の通り、2017年6月に日本政策金融公庫（天津市店）、公益財団法人淡海文化振興財団と当協会の三者で「しがソーシャルビジネスサポートネットワーク」を立ち上げた。ソーシャルビジネスの担い手に対し、セミナー開催、ワンストップ相談会の開催等、継続的なサービスを提供していく。

②知見の深耕

すでに県内にてソーシャルビジネスの担い手として10年以上活躍している事業者が存在するため、訪問・意見交換を実施し、知見を深めていきたい。

4. 中長期的な目標・計画

ソーシャルビジネスの立ち上げから成長、成熟までの各過程において、事業者が必要とするサービス（アドバイス、マッチング等）を適宜提供できるようになる。それを通じ、滋賀県が持続的に発展していくことを力強く支援していく。

以 上



新入会員紹介

氏名: 赤松 健臣

住所: 大阪府大阪市

兵庫県(赤穂市)出身。1990年、ITコンサルティング企業入社。その後、2004年から、約10年、沖縄で市役所職員を経験。現在は、これまでの2つの職歴を活かし、主に関西の自治体向けにITコンサルティングを提供する企業に勤めている企業診断士です。

2012年に診断士取得しましたが、企業内診断士としてあまり活用・成長する機会を持てず、今日に至っています。

滋賀県協会とのご縁は、昨年、「RESAS」に関してネット検索していたさいに、協会の「地域分析研究会(RESAS 研究会)」を知ったことです。2017年度一年間、賛助会員としてお世話になり、今年度からは、正式会員として入会させていただきました。研究会だけでなく、様々な機会、皆様とともに中小企業や地域の発展に貢献したいと考えています。よろしく、ご指導の程、お願いいたします。



氏名 : 伊佐 嘉仁 (いさ よしひと)

住所 : 京都府宇治市

事業所名 : IFP株式会社

事業内容 : 経営コンサルティング、キャリアコンサルティング、
損害保険・生命保険代理店

専門分野等 : 企業リスク、人材育成、事業承継



平成29年12月試験合格、平成30年4月登録です。平成26年に保険代理店として会社を創業し、現在はキャリアコンサルタントの資格も活かして上記事業を行っており、診断士としては、特に、「企業リスク」「人材育成」「事業承継」を得意にしています。

まだまだ未熟者であることを自覚しておりますので、現在は経営コンサルタントとしての自身の能力を総合的に向上させるため、可能な限り多くの研究会活動に参加していこうと考えております。多くの皆様よりご指導ご鞭撻いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

氏名:岩崎 弘之(いわさき ひろゆき)

住所:滋賀県大津市

学歴:立命館大学法学部卒業、兵庫県立大学大学院経営研究科(MBA)修了

事業名:VITA(ヴィータ)経営コンサルティング

キャッチコピー:「観光業支援プロデューサー」



2018年6月に入会させていただきました。

大学卒業後、株式会社日本旅行に入社。法人営業を担当しておりました。管理職昇格後、営業マネージャー、総合店舗支店長、地方創生・地域誘客を経験。旅行業の仕事を、一気通貫で経験していることが強みです。

滋賀県は、素晴らしい観光素材に恵まれているにもかかわらず、2017年度県別訪日外国人数ランキング33位に甘んじています。隣接する京都に頼ることなく、滋賀県独自の観光資源・観光商品の開発が課題です。滋賀県を主目的とする観光客を増加させることで、生まれ育った滋賀県の経済発展に尽力したいと考えております。

診断士としてはまったくの駆け出しです。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

氏名:榎 純伊知

住所:滋賀県大津市



2018年4月から滋賀協会に入会させていただきました榎純伊知(エノキ・ジュンイチ)です。診断士試験の合格は、2016年1月(2015年度)で、実務補習を経て2016年9月に診断士登録、東京協会の城南支部で一年半活動してきました。

61歳の企業内診断士です。食品製造会社に38年勤務し、経理、経営企画、総務の業務に従事してきました。アメリカと中国に駐在経験があります。何事にも、誠実に、前向きに取り組んで、中小企業を支援していきたいと思いをします。

会社のライフセミナーで、「第二の人生何をしたいですか?」という問いかけに、「経営コンサルタントになって社会に貢献したい!」と書いたのが、診断士試験に挑戦するきっかけになりました。ふるさと滋賀に戻り、滋賀県の中小企業のお役に立ちたいと考えています。

しばらくは二足の草鞋となりますが、どうぞよろしくお願い致します。

氏名:佐野 良太
住所:滋賀県大津市

2018年5月に入会させて頂きました。入会理由は、初めて研究会の見学をさせて頂いた時に暖かく迎え入れて頂き、とても嬉しかったからかもしれません。。

現在は社会保険労務士事務所で勤務しながら、資格の勉強中です。日頃の行いを良くし試験に受かるように念じております。。
皆様から応援していただけるような人間になれるように精進します…
今後ともよろしくお願い致します!!!!
写真は高校生の時のものです。(笑)



氏名:武田 篤志
住所:滋賀県長浜市
専門分野:業務プロセス改革・改善、情報システム戦略立案、情報システム構築マネジメント

2018年4月に診断士登録し、5月に入会させて頂きました。

小売業9年、組立製造業約28年のほぼすべての期間において、業務改革・業務改善およびそれにとまなうIT構築にかかわってきました。

小売業では、肌着・靴下販売を経て、POSシステムの開発・運用に従事しました。組立製造業では、自動倉庫システム、新工場の情報システム整備、全社基幹システム構築、海外子会社販売管理システム構築支援、3D-CADシステム導入推進等を担当いたしました。

IT活用は経営課題解決の有力な手段のひとつであり、経営効率化に対して大きな可能性を秘めていると考えています。企業経営に関する知識・経験を深め、IT活用も含めた経営課題の解決策を提案し、企業の発展ひいては地域の活性化に貢献したいと考えています。
経験豊富な皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



氏名： 中野 愛子(なかの あいこ)

住所： 大阪府大阪市

専門分野： IT 導入支援/創業支援/事業承継支援/経営診断/事業計画策定

経歴： 2015.3 中小企業診断士登録

2017.1 独立開業

2018.2 経営革新等認定支援機関登録

2018.3 金融検定協会認定 事業承継マネジャー取得

企業向け会計システムの導入支援、業務改善、プロジェクト管理を 10 年実施してまいりました。独立後は、システム導入の専門性を軸に、創業から事業承継まで末永い支援のできる診断士になりたいと思っています。

諸先生方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



氏名:南 肇之

住所:滋賀県大津市

本年度(2018年)4月1日付で登録したばかりの新米診断士です。人生 50 年という謡の言葉がよぎった時、何らかの次のステップを踏み出すべし、と考え、診断士の門を叩きました。

1966 年 八日市生まれ、学生から現在までのほとんどを滋賀か京都で過ごしております。大学卒業後、一部上場企業に就職し、その後 7 年ほど中小企業を歩いた

後、12 年前より現在の流通小売業に従事しております。25 年ほどの企業経験のほとんどが、経営管理・企画、経理畑で得たものでありまして、管理会計の構築と予算実績管理の実践、それに伴う BPR、また M&A や事業再編などを行って参りました。

特異な点を挙げるならば、大企業を初めに中小企業を経て、現在の大企業に就業し、「経営管理」という基本的なところを修めながら、その都度、大小の経営者(社長)の薫陶を直接受ける機会が多かったことであります。今後は、それを自身の大きな財産とし、診断士としての活動に活かしていきたいと考えております。

先輩診断士の皆様方、宜しくご指導のほどお願いいたします。



氏名	磯野 研(いその けん)
連絡先	isono.consultant@gmail.com
生年・出身	1982年生まれ・神奈川県
特技	① 溶接(アーク・半自動・ガス・TIG等) ② 金属加工(旋盤・フライス盤・NC等) ③ IT運用 いずれも関連資格保有
所属	・彦根商工会議所(中小企業支援コーディネーター) ・KECビジネススクール(中小企業診断士予備校講師)
事業内容	① 彦根市近隣の地場産業(主に補正下着)・伝統的工芸産業(主に彦根仏壇、上丹生木彫)の販路拡大・経営支援 ② 商工会議所会員企業様への経営コンサルティング(製造業・飲食・理美容・その他サービス等多数) ③ 経営発達支援計画関連業務 ④ 事業承継関連業務 ⑤ 各種補助金・補助事業申請と採択後の伴走支援(持続化・ものづくり・サポイン・事業承継・伝統工芸関連等) ⑥ 滋賀県中小企業診断士協会関連業務(事業再生支援研究会・ものづくり研究会・事業承継研究会等)
ごあいさつ	こんにちは。2018年4月に診断士登録をいたしました、磯野と申します。東京の法科大学院を卒業後、京都の大手部品メーカー、大阪のIT企業で人事・経営企画・IT導入等を行った後、米原の職業訓練校で1年間、金属加工を学びました。2017年12月の試験合格後、当協会には実務従事で大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。 本年4月からは診断士として一人前になるための専門性を身につけるべく、彦根商工会議所で週5日間勤務しています。伝統的工芸品と地場産品を大都市圏・海外で販売するための販路開拓を実施し、一部は形になりつつある等、手ごたえを感じる毎日です。 最終的には補助金に頼らなくても事業が成り立つような「新ビジネスの創出」をモットーに、新たなデザイン・販路開拓を通じて、苦境に立たされている伝統的工芸品を、現代の消費者ニーズに合わせた形で普及させることを目標に活動しています。「外部」の視点を忘れず、地域内外(場合によっては海外)との連携を大切に、経験と実績を積みながら、ゆくゆくは滋賀県から全国を回りたいと思っています。様々な診断士の方々と交流できれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



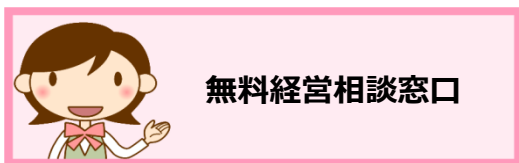
信楽にて、好きな動物(マレーバク)を作成中



中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000, 14000 等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。

専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、経営に関することなら、お気軽にご相談ください。



当協会では、平日の午後 1 時より午後 5 時まで、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。相談日と相談担当者は、当協会ホームページで公開しております。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、連携を求めておられる方など、多くの方に安心して利用いただいています。特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールであらかじめご予約していただくことも可能です。詳しくは、当協会ホームページをご参照ください。



事務局から

当協会のホームページでは、皆さまの専門領域や経歴等のプロフィールを「会員情報」として発信しております。内容をご確認いただき、最新情報の掲載にご協力をお願いいたします。原稿をお送りいただければ、ホームページ掲載の情報を更新いたします。

また、未掲載の方で、掲載希望の場合はお申し出ください。

30年度の1年間で、更新登録申請時期を迎える会員の方は、21名です。

該当される方には、要件充足の見込み等について、事務局より順次確認させていただきますが、ご不明な点等ございましたら、お早目にお問い合わせください。

事務局 小山敦美

■発行者：一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

■住所：〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1

コラボしが21 4階

TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371

email: jsmecca25@jade.dti.ne.jp WWW: <http://www.shiga-smeca.net/>

■交通：○京阪電車・石場駅より徒歩3分

○大津駅からバス「びわ湖ホール」又は「商工会議所前」下車徒歩2分

